

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和01年11月21日

計画の名称	蕨市における下水道の防災・安全基盤整備（その2）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	蕨市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	747	A	747	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R2末	R4末
1	下水道による都市浸水対策達成率を78.7%（H30当初）から81.7%（R4末）に増加させる。			
	下水道による都市浸水対策達成率	79%	80%	82%
	浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（509ha）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	蕨市	直接	蕨市			管渠 (新設 雨水)	L=1, 214m	蕨市	■	■	■	■	■	747		—	
											小計						747			
											合計						747			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02	R03	R04
配分額 (a)	76	87	43	32	39
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	76	87	43	32	39
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	0
支払済額 (e)	76	87	43	32	39
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	0
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

計画の名称	蕨市における下水道の防災・安全基盤整備 (その2) (重点計画)		
計画の期間	平成30年度 ~ 令和4年度 (5年間)	交付対象	蕨市

# 計画一般図 (雨水)

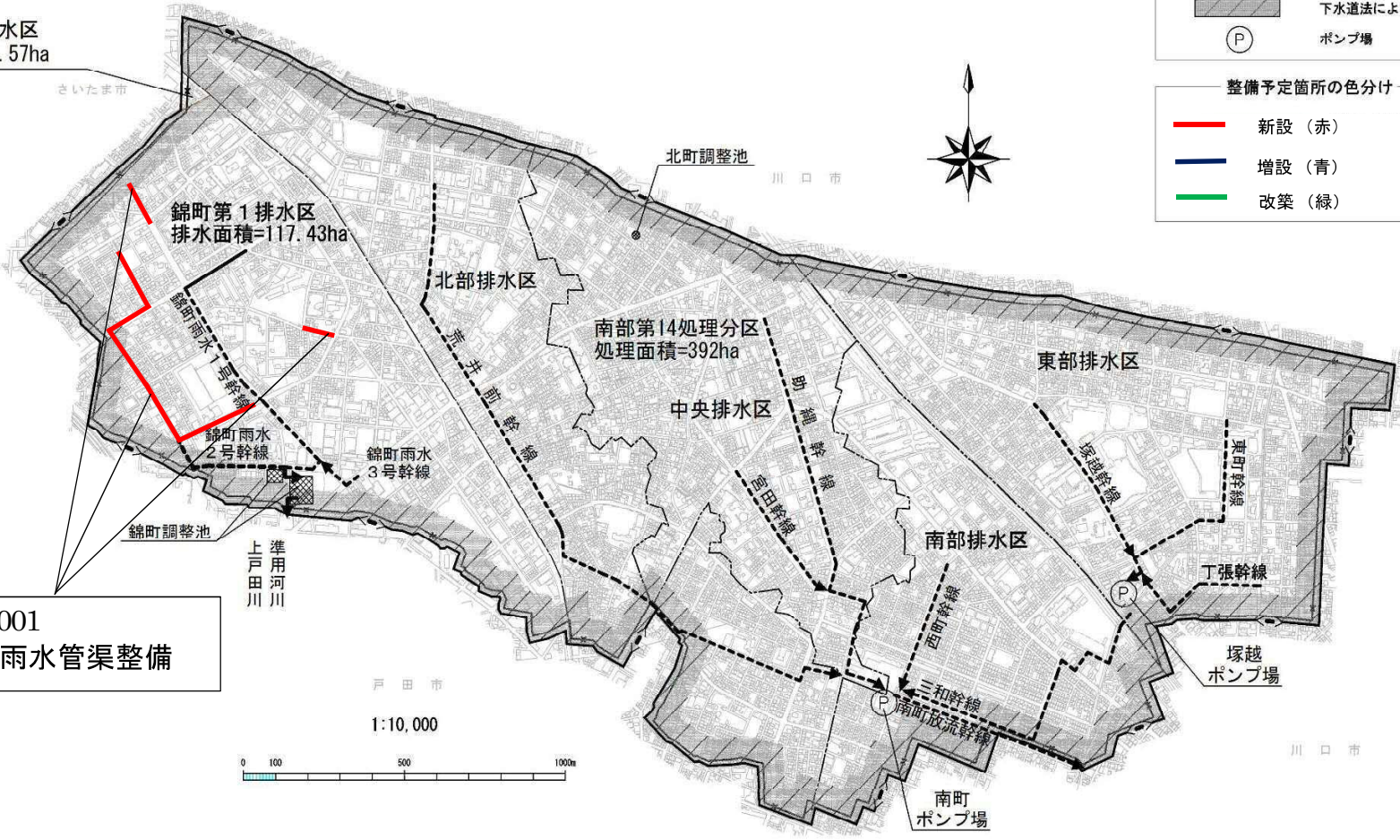
**凡例**

- 排水区域界
- 排水区界
- 既設幹線
- 下水道法による事業計画区域
- ポンプ場

**整備予定箇所の色分け**

- 新設 (赤)
- 増設 (青)
- 改築 (緑)

錦町第2排水区  
排水面積=0.57ha



A07-001  
錦町雨水管渠整備



## 事前評価チェックシート

計画の名称： 蕨市における下水道の防災・安全基盤整備（その2）（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①計画の目標が上位計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 ③関連する他事業の計画と整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ①目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ②指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④指標・数値目標の根拠が整理されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ⑤十分な事業効果が見込まれている。	○
III. 計画の実現可能性 ①全体事業費・要素事業の額が適切である。	○
III. 計画の実現可能性 ②関連する機関との調整が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 ③計画の具体性など事業の熟度が高い。	○